

everroll®

performance flooring

標準施工・メンテナンス手順書



高橋産業株式会社

〒650-0034 神戸市中央区京町 71 番地 山本ビル 5F TEL: 078-333-1561, FAX: 078-333-1565

### 設 置 工 事

#### I. 現場の状況

1. 敷設工事は、すべての材料の運搬が終わるまで始めてはいけません。 下地工事終了後、設置工事までの間、床を適当なビニール等で養生してください。
2. 床工事をする場所は風雨に当たらず、設置前、設置後それぞれ48時間18℃の一定温度条件が最適です。

#### II. 施工下地

“レグポール・エバーロール製品は、通常、モルタル金ゴテ仕上げの下地上に敷設します。

注意：石膏を主原料とする塗装やレベリング材の上は、施工できません。

1. 木質下地の場合—下張り合板(12~15mm 厚)の2重構造でなければなりません。 コンクリート型枠合板が望ましい。 下地床は硬く、しならず、鋼製床下地 (JIS A6519)の体育館床工事標準施工要領に従います。
2. コンクリート下地の場合—表面強度が十分にあること。十分に乾燥させ、誘電率水分値:8%以下、電気抵抗値:3,000Ω以上を目安とします。 夏期で2~3週間、冬期で3~4週間の乾燥期間が目安となる。

#### III. 施工下地の必要条件と準備

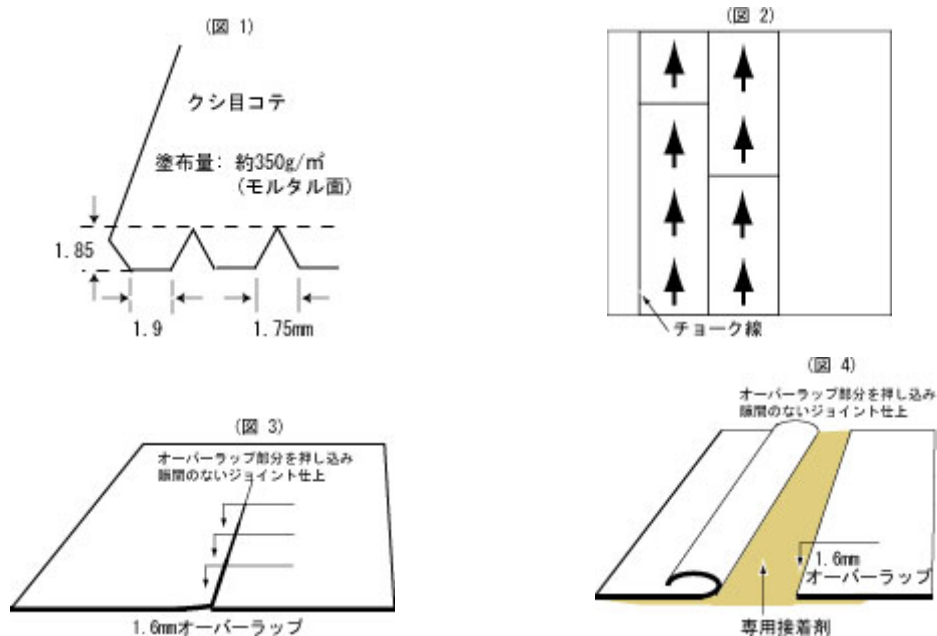
1. 施工下地は、乾燥してきれいで、滑らかで水平で、構造的に完成したものでなければなりません。モルタルかす、ホコリ、ペンキ、油類などが付着していないことを確認する。接着不良の原因となる。
2. 施工下地は、平滑で不陸がないこと、通常、表面は、3mで±5mm以内とし、必要があれば施工前に下地修正材を用いて均しておく必要がある。
3. 古い接着剤跡は、完全に取除き、ペンキやその他をスクレーパーやサンディング作業を行ってください。溶剤は、使用しないでください。
4. 下地の目地、ひび割れ、ギザギザ等がある場合は、モルタル仕上げで手直ししてください。
5. pH テストは、すべてのコンクリートフロアで実施するべきです。もし、pH 値が9以上であれば、施工工事を始めるまでに中性化してください。
6. 工事現場全体の数箇所において、接着テストを実施してください。8cm x 8cm のテストピースを接着剤とコテを使って、実際の施工下地に貼り付けてください。72時間後の状態(剥がれないかどうか)を確認してください。

#### IV. 材料の保管と取り扱い

1. すべての材料は、原型・未開封のラベルが張ってある状態で作業現場へ納入してください。
2. 材料と接着剤は、施工作业開始前の24時間以上、室温になじませて下さい。
3. レグポール・エバーロール製品の各ロールは、巻きを解き、同一方向に敷詰めてください。すべてのロールには、製造ロット番号が記載されています。連続したロール番号のものを使ってください。(図2参考)
4. ロール材料は、製造過程でわずかに伸張しています。施工作业現場では、施工を始める2時間前にはすべてのロールの巻きを解いて各ロールのストレスを解放してください。その後、各ロールの切断作業を行ってください。

## V. エバーロールの施工

1. 先ず、真直ぐや直角でない境界の壁に対して、仮設をします。床の角のスタートポイントからロールの幅に従い、チョーク線を引きます。(図2参照)
2. 床の上で、ロールの梱包をほどきます。床の上に、効率よく切断されたロールを一定方向に敷詰めます。その際、全てのロールに対し、壁に十分達するような長さが必要です。
3. カットされたロールは、最低2時間 開放状態にしてください。
4. チョーク線に従って、端の最初のロールを置きます。
5. 最初のロールと次のロールのジョイントは、僅か 1.6mm を重ね合わせて敷設してください。そして、黒い製品の継目が見えないように作業します。この作業で、きつい継目やいかなる隙間も取り去ることができます。(図3参照)
6. その日に、敷設するロールは、その日の全ての施工範囲に完成させる必要があります。



### 7. 施工法 ①- 接着施工 (6mm~9mm厚製品)

- a. 上の過程の仮設の後に、接着剤の準備を始めます。専用の1液性接着剤(VOC基準対応品)を推奨します。この接着剤は、湿気硬化型のポリウレタン接着剤です。攪拌しないで使用してください。専用の容器の中には、完全に処方された正しい状態にあり、すぐに使用することができます。また、塗布量は、クシ目コテ(図1)にて、約 350g/m<sup>2</sup>(モルタル面)を使用してください。(オープンタイム: 夏期: 10~20分; 冬場: 20~30分)
- b. 壁に沿って、最初に敷設するロールを折り曲げ、準備します。(ロールの半分の幅)
- c. 市販で使用されるクシ目コテで接着剤を広げます。(オープンタイム: 夏期: 10~20分; 冬場: 20~30分) 40分以内にロール敷設を完了してください。
- d. 次に、湿った状態の接着剤の上にロールを敷設します。その際、絶対に上から被せるように敷設してはいけません。シートの下に空気が入らないように注意して作業してください。膨れの原因となります。
- e. 張合せ直後にローラー(約 5kg)、紙管等で十分に転圧をかけてください。端、巻きぐせ等の浮き防止のために、1~2時間後に再転圧をかけてください。部分的に重石を置くこともお勧めします。先ず、初めの半分のロールを約 1.6mm オーバーラップさせます。ローラーで、最初にロールの幅方向に転圧し、次に長手方向に転圧します。
- f. 最初のロールと幅方向に折り曲げられた次のロール半分の下に接着剤を広げます。接着剤が、ジョイン

トから染み出さないように、正しい角度で接着剤をクシ目コテで広げてください。

- g 接着剤の量は、適量を均一かつ連続して塗布してください。接着剤の広げられた上でロールの折り曲げ作業が行われます。ロール表面に接着剤が付かないよう注意してください。もし、接着剤が付いた場合は、直ぐにウエス等で拭き取ってください。硬化した後の拭き取りは、困難です。
- h 作業後、ロール上の使用を最低24時間避けてください。

#### 施工法 ②- テープ固定 (9mm厚以上の製品)

- a. 乾いた下地の上にロールを敷設します。
- b. 全てのロールのジョイント部分真下に鉛筆で線を引きます。
- c. 最低5cm幅のカーペット用高品質両面テープを使用します。
- d. 壁に沿って最初のロールを敷詰め、ロール幅の半分を捲り上げます。
- e. ジョイントの鉛筆線の上に、離型紙の剥がされた両面テープを張付けます。
- f. 最初のロールと次のロールのジョイントは、僅か1.6mmを重ね合わせて敷設してください。黒い製品の継目が見えないように作業します。この作業で、きつい継目やいかなる隙間も取り去ることができます。(図3)
- g. ハンドローラーで、全てのジョイントの上を適切に転圧してください。それ以外のロール上は、必要ありません。

## メンテナンス

### クリーニングの方法

#### 1. 主要な日常のクリーニング

- a 汚れ、ほこり、砂、小石などは、ほうきやモップ、高機能掃除機などできれいに取り除いてください。頻繁に人の通るところは、業務用清掃機を使用してください。
- b 中性洗剤(pH7~9)などを約20倍に薄めてから柔らかいナイロンブラシやパッドにつけて、清掃を行ってください。
- c 汚れは、水ごと液体吸引機で吸い取ってください。
- d さらに、きれいな水ですすぎ、液体用吸引機で吸い取ってください。
- e すすぎの水がきれいになるまで繰り返し行ってください。
- f 全体的によく乾燥させてください。(6~8時間)

注意: 水浸しになるような状態で作業してはいけません。

#### 2. ひどい汚れ

- a 1の日常クリーニング方法と同じように行ってください。それから中性洗剤を約10倍に薄めて使ってください。

\* 中性洗剤の適正は、洗剤メーカーにご確認の上、ご使用ください。